

アオギスの里親先一覧

横浜市立間門小学校*1 Tel. 045-622-0005	横浜市立文庫小学校 Tel. 045-781-3368
横浜・八景島シーパラダイス*2 Tel. 045-788-9608	京急油壺マリンパーク Tel. 046-881-6281
新江ノ島水族館 Tel. 046-629-9960	横浜市「海とのふれあいセンター」 Tel. 045-701-3450
浦安市郷土博物館 Tel. 047-305-4300	葛西臨海水族園*3 Tel. 03-3869-5152

*1 3月2日受渡し済み (平成18年3月末現在 順不同)
 *2 2月23日受渡し済み
 *3 3月14日受渡し済み

かいせいけん

海の豆知識

特別号

★★★★ 幻の魚アオギス ★★★★★

—東京湾再生のシンボル—



研究放流用アオギス飼育水槽 (実証試験場)

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立され創立30年を越えました。

海の豆知識 特別号

平成18年4月 発行

財団法人 海洋生物環境研究所

常務理事 村上正美 理事 城戸勝利 事務局長代理 藤井睦博 研究員 山田 裕

事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 帝国書院ビル5階 ☎(03) 5210-5961
 中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111
 実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。
 <ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>



財団法人 海洋生物環境研究所

なぜアオギス?!

アオギスって何?!



平成17年11月に開かれた第25回全国豊かな海づくり大会(かながわ大会)では、東京湾の環境再生のシンボルとして、幻の魚アオギスの研究放流が検討されましたが、いろいろな人達からの反対意見もあり、結果として放流されませんでした。

私たち財団法人海洋生物環境研究所ではこの研究放流のために、九州から連れてきた親アオギスが生んだ数千尾の子アオギスを、平成17年4月から大事に育ててきました。しかし放流が中止となり、これまで育ててきた多くのアオギスたちの里親を捜してきました。

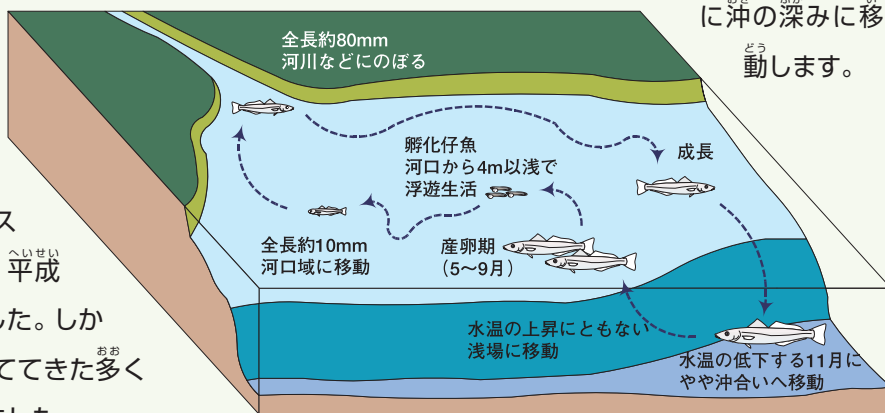
皆さんの前にいるアオギスは、そんな行き場をなくしたアオギスたちです。このアオギスを見て、育てて、皆さんで東京湾などの海的环境について、どうしたら良くなるか? どうしたらアオギスが住める海になるか? 考えてみてください。

アオギスは、かつて日本の各地にすんでいたキスの仲間ですが、海辺の環境の変化のために、今では北九州の一部でのみ見られる「幻の魚」となっていました。



アオギスは、春の終わりから夏の初めにかけて、沿岸や内湾の奥に入ってきて、梅雨の頃に干潟などで産卵し、その後、秋になり、水温が下がるとともに

沖の深みに移動します。



東京湾でも、アオギスは普通にすんでいました。また、春から初夏を中心にアオギスの脚立釣りが、昭和30年代頃まで盛んに行われ、江戸前の風物詩となっていました。しかし、埋め立てなどにより干潟がなくなるにつれて、アオギスの数も減り、今では絶滅したと考えられています。